

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
1	学習活動 (教育課程)	目標	○スクールポリシーに基づき、多様な生徒の実態に対応した教育課程を編成する。
		計画	○生徒の実態に即した指導ができるよう、習熟度別の講座を開設する。 ○生徒の理解を深めさせるために、科目によっては少人数制を展開する。 ○義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための科目を開設する。 ○個々の生徒の進路希望・興味・関心などに対応した受講登録ができるよう多様な教科・科目を開設する。 ○福祉教養科では、家庭や福祉に関する専門的な知識や技術の習得を目指し、多くの専門科目を開設する。 ○通常の指導や各講座における合理的な配慮だけでは十分でない場合の対応として「通級による指導」を開設する。
2	学習活動 (学習指導) 重点1	目標	○生徒の実態に即した適切な指導と授業改善により、学習意欲や講座出席率の向上を図る。
		計画	○一人一人の生活環境、学習歴、学力、適性、進路希望などを考慮した適切な受講登録を行い、わかる授業を確立する。 ○生徒の出席状況や学習状況について教員間で情報を共有するとともに、保護者との連絡を図りながら、生徒の講座への出席率を高めていく。 ○指導方法や指導体制の工夫改善のために、互見授業を実施したり、ICT機器やデジタルコンテンツ等を活用した授業を推進したりする。
3	学習活動 (福祉教養科) 重点2	目標	○家庭・福祉に興味・関心を持たせ、基礎的な知識や思考・技術を習得させ福祉マインドを育む。
		計画	○家庭・福祉の基本となる生活態度について目標を設定させ、自己評価を行う。 ○福祉施設における福祉体験や学習を通して、家庭・福祉に対する基本的知識や技術を習得させ、専門性を深める。 ○介護職員初任者研修課程や家庭クラブ活動を通して、家庭・福祉に対する興味・関心を向上させる。 ○専門職の外部講師による授業や福祉出前講座、福祉教養科の行事や活動を多く取り入れ、福祉マインドを育成する。
4	学習活動 (生涯学習)	目標	○併設されている県民カレッジ新川地区センターとの共学講座で、一般受講者と学ぶ機会を活用し、生涯学び続ける力を育む。 ○県民カレッジ新川地区センターとの学習機会や行事等を活用し、地域の人々と協働的に学び、実社会の課題を解決する資質を育成する。
		計画	○共学講座で、高校生が一般受講者と同じ学習の場で互いに刺激しあい、高めあえる学習環境を整える。 ○新川キャンパスフェスティバルなど、地域での発表機会を充実させる。
5	学校生活 (生徒指導)	目標	○基本的な生活習慣を培うとともに、互いに敬愛し合う人間関係を構築し、全人的な人間形成を目指す。
		計画	○基本的な生活習慣として「あいさつの推進」「場に応じた言葉遣い」を重点項目として掲げ、ルールやマナーを学び、遵守する力を育成する。 ○不登校や長期欠席の生徒に対して、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び保護者と連携を取りながら、生徒の理解・支援に努める。 ○講話等を通してスマートフォンの安全な利用、交通安全、薬物乱用防止への意識を高める。 ○全校集会等を通して、命の大切さなどの気運を醸成する。

項目		目標・方針及び計画	
6	学校生活 (保健指導) 重点3	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己健康管理能力を育むとともに、健康で快適な学校生活のための学習環境の整備に努める。 ○特別な支援を要する生徒等の共通理解を図り、生徒の社会的自立や自己実現に向けた指導や支援を目指す。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の健康で充実した学校生活のために、定期健康診断や生活習慣チェックを実施し、必要に応じて健康相談を行う。「治療カード」「ほけんだより」により啓発する。 ○生徒保健委員会を活性化させ、生徒の環境整備・健康意識の向上を図る。 ○地域環境美化活動や毎日の清掃を全員で行い、環境美化の意識付けを図る。 ○ケース会議等をもとに生徒への共通理解を深め、家庭や県の相談機関・外部の医療機関との連携を図り、適切な支援を行う。
7	進路支援 (進路指導) 重点4	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態を考慮し、個に応じた進学・就職等を支援する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が個々の適性に応じた目標に向かって、積極的に取り組み、進路実現できるように支援する。 ○生徒が主体的にキャリア教育のステップアップを目指しながら、目標に向かって実践できる進路指導(支援)体制を構築する。 ○キャリアパスポートの作成を充実させる。
8	特別活動 重点5	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な他者の価値観や個性を受け入れ、助け合ったり協力し合ったり、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を育成する。 ○人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を育成する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動や学校行事について、生徒の自主的、自発的な活動を促すとともに、豊かな人間関係を構築する能力やコミュニケーション能力を育て、学校生活の充実を図る。 ○ホームルーム活動について、生徒一人一人がホームルームへの帰属意識や生活上の規範意識を高め、ホームルームが安心できる自分の居場所となり、自己の進路実現へ意欲的に取り組むことができるよう、ホームルーム活動の一層の充実を図る。 ○部活動を通して、個を大切にしながら相互を高め、他者とのコミュニケーション能力や、望ましい人間関係を構築できる能力を育てる。
9	図書指導	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○図書委員会活動を活発化し、読書に対する興味・関心を高める。 ○図書館の利用指導を通し、健全な読書活動の推進を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休み・放課後のカウンター当番を通して、図書委員としての自覚を高め、図書委員会の活発な活動を推進する。 ○生徒の読書傾向やニーズの把握に努める。 ○図書だより・図書館報の発行、生徒図書選定等を行う。
10	P T A活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校と家庭との緊密な連携のもと、P T A活動の活性化を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページにP T A活動の様子などを更新・掲載する。 ○ホームページや安心安全メール等を利用して会員への連絡を徹底する。 ○P T Aだよりを充実させる。 ○P T A講演会、学校開放W E E K等の保護者の来校機会を多く設定する。 ○積極的なP T A活動への参加を呼びかける。